

土に触れる楽しさを
知ってほしい



熊木 昭夫さん
(大須郷/66歳)

45年間の東京生活に終止符を打ち、生まれ育った故郷・大須郷に戻った熊木昭夫さん。自宅作業場で陶芸教室「海嶺の郷」を開きながら、今年4月に開所した知的障害者更生施設『さんたらっぶ』で陶芸を教えています。

もっと土に触れてもらいたい、物事に対する集中力を養ってもらいたい、そして何よりも、施設の子たちが自立できるように売り物になるものを作れるようになってもらいたい。そんな思いから、施設の通所者に陶芸を教えています。もともと、この施設ができるまで象潟にあった「太陽の家」でも2年間教えていました。太陽の家のおかげから始めていた子たちは、さすがに一日の長があまりまずね。でも、4月から始めた子の中には、最初は土に触ることさえ嫌がっていたの



「鳥海焼」を始めました。地元にある素晴らしい資源を利用した焼き物にも工夫を重ねています。自宅では、陶芸教室も開催していますが、私の一番の夢は、このにかほ市からいい陶芸家が誕生することですね。そのためには、私で教えられないことは何でも教えたいと思っています。

に、いまでは積極的に参加し、すごく上手に作れるようになった子もいます。自分の手で物を作る喜びを知って、もっといい物をつくりたいという気持ちが、本人のやる気を起こさせているようです。こういったときが、私にとってとても嬉しい瞬間です。

にかほ市から素晴らしい陶芸家が誕生してほしい

私が陶芸を始めたのは、後厄のあと少し体調を崩してからでした。周囲から指を動かすことが大事だと聞いたからです。それから陶芸教室に通い始め、展示会等に出品し、それが入選することで、自信になり、もっと上手になりたいという気持ちが強く、いつの間にかのめり込んでいました。東京の職場を退職し、老後は生まれ故郷でと、4年前に住居をこちらに構えました。2年前からは、鳥海山の鳥海石(安山岩)を粉にして土薬として用いる

ぐんま県
ふるさと
地区紹介

上 浜 地 区
(象潟地域)

はまなす/立石1区/立石2区/関/西中野沢/洗釜砂山/大砂川/川袋/大須郷/小砂川1区/小砂川2区/観音森



秋田県最南端の沿岸部に位置する上浜地区は、県内でもいち早く桜が咲きます。これは日本海を北上している対馬暖流の影響によるもので、内陸部より気温が高いためといわれています。

自然観賞
三崎公園

国道7号沿いの秋田と山形県境に位置する三崎公園は、観音崎、大師崎、不動崎の3つの崎が日本海に突き出ているところから「三崎」の名が付いたといわれています。県内でもっとも早く桜が開花する公園で、奇岩怪石の海岸美を眺望できるキャンプ場、フィールドアスレチックなどが整備されています。



伝承芸能
大日堂子ども獅子舞

1月7日、8月7日に小砂川集落で行われるこの行事は、子どもたちだけで舞の組(神主役1、舞い手1、鐘1、笛1、前触れ1、旗持1ほか)を編成し、各家々を家内安全の護札を配りながら門づけをして回ります。



年中行事
酒飲み占い

1月1日に関地区を町村、奥川村、立石の3つに分け、それぞれの代表が1升入り大杯で酒を飲み、座配人がその飲んだ量でその年の大豊作、豊作、平年作の順番を決定し、祈願します。



明星保育園・5才
須田 海龍くん

さおにするめやにぼしをつけて、みんなでザリガ二つりにいったんだ。ひとりで3びきもつたおともだちもいたよ。ハサミにぶつぶつがあつて、しっぽはおはなみたいになっていてすごいなあとおもったんだ。



明星保育園・6才
齋藤 桃子ちゃん

ほいくえんのおにわでカタツムリをみつけたよ。カタツムリにさわったり、うごくのをみたり、いっぱいかんさつしたんだ。木にのぼっているところや、大きいカタツムリ、小さいカタツムリをたくさんがいたよ。

チビッコ美術館
じよつずにできた!